

# 進路部だより 9月号

2020.9.8

## ☆ 3 学年就職模擬面接指導

9月1日(火)～9月3日(木)の放課後に3学年の就職希望の生徒対象に、外部の講師の方を招いて面接指導が行われました。面接指導が終わった後、講師の先生方から講評をいただきましたが、「全体的にまだまだです。」と厳しい評価でした。就職試験まで、いよいよ残り1ヶ月半となります。残りの期間でしっかり準備をして、本番に臨んで欲しいところです。生徒からは「外部の方に評価してもらって、自分の改善点が見つかって良かった」という声も聞こえてきました。面接は何回も繰り返し練習をしないと上手になりません。残念ながら今回「早く家に帰りたいから」という理由で、面接を受けずに帰宅してしまった生徒が若干名いました。就職試験が迫っている今、自分にとって今何をしなければいけないのか、何が一番大事なのか、自覚して行動してほしいと思います。また、進路行事を開催するにあたって、学校内外の多くの方が、3年生諸君の進学・就職のために仕事をしていただいていることも重ねて理解しておいてください。



## ☆ 3 学年担任から

### 【3年1組浅野先生】

礼法や所作についてはお褒めの言葉を頂いた一方、志望動機・自己PRに加えて、長所・短所といった自分自身に関することですら話すことができず沈黙している生徒を多く見かけました。まだ進路に対し意識が低い生徒が多いと感じました。これからの皆さんの姿勢に期待します。

### 【3年2組安西先生】

面接練習お疲れ様でした。外部講師の方との面接練習は緊張感もあって非常に有意義だと思えます。講師の方からは全体として「礼儀作法はできているが、志望動機等が足りない、会社研究が必要」と言われました。礼儀作法は例えるならば呼吸と一緒に流れるようにできて当然、できるようになれば意識する必要はありません。皆さんはもう次のステップである「内容の充実」の段階に来ています。例え「働けばどこでも」と思っている、それを口には出せません。企業研究を十分に行い、製品や会社の方針を理解した上で自分のことばで話せるようにしましょう。回数をこなせばうまくいきます。「なんとかなるでしょ」と思っている人が、一番危険です。

### 【3年3組岩淵先生】

高卒求人とは別名ゴールデンチケットと呼ばれています。仕事に関して知識も経験もない高校生を好条件で採用してくれるからです。このチャンスを逃さず、自分の人生を決めるつもりで就職試験に臨んでください。すでに意識が高い生徒は、自分から先生方に面接練習を頼んで何回も練習をしています。現時点で志望動機もまとまっていない生徒は、少し焦った方がいいかもしれません。

## ☆ 1・2年生諸君へ

今年度の県内の求人数は、業種によっては若干減りましたが、ほぼ例年通りでした。しかし、多くの企業の人事担当の方に話を伺うと、来年以降も今年度と同じような採用人数は見込めないかもしれないという心配の声を多く聞きます。コロナ渦の今、例年以上に早めの準備が必要です。

そのために取り組んで欲しいことは、高校時代頑張ったことを見つけることです。毎年なのですが、3年生の面接練習が始まる8月になって「高校時代頑張ったことは何ですか？」という質問に対する答えを持っていない生徒が岩高には多く存在します。3年生になってから初めて「自分は高校生活で何を頑張っていたのか」を見つめ直しても正直手遅れです。1・2年生の時から、継続して頑張ることを決めて実行に移してください。頑張らないといけないのは、3年生になってからではなく今です！

## ☆ 3年生の保護者のみなさまへ

### ◎就職試験について

10月16日(水)からの選考開始です。

※公務員試験と企業の就職試験の併願はできません。もし、公務員試験の受験を検討している場合は必ず進路部長に確認してください。

### ◎進学について

専門学校・大学・短大の出願書類を出す日程は必ず自分で事前に確認してください。また、学費の納入期限や金額について確認し、遅れがないように確実に納入してください。

## 2 基本方針

【1 学年】自己の適性や生き方を考えさせることによって、将来に対する適切な進路意識を養い進路目標を立てさせる。

【2 学年】様々な選択肢から自己の方向性を具体的に見定めるように促し、進路実現に向けて必要なことを明確に意識させる。

【3 学年】進路達成の意欲を高めるような実践指導を継続的に実施することによって、最後まで根気強く取り組む姿勢を養う。

## 3 具体的施策

(1) キャリア教育の視点から自己と職業の理解を深めさせ、将来を真摯に見つめることの大切さを教える。

- ①進路適性検査（1・2 学年） ②進路ガイダンス（各学年） ③進路別ガイダンス（全学年）
- ④模擬面接（3 年） ⑤先輩に学ぶ会（1・2 年）

(2) 志望する進路について自分で調べ、また自分の目で確かめようとする主体的な姿勢を育てる。

- ①学校職場見学会（1・3 年） ②オープンキャンパス（全学年） ③応募前職場見学（3 年）
- ④進路ガイダンス（各学年） ⑤進路別ガイダンス（全学年） ⑥進学説明会（3 年）
- ⑦就職合同説明会（3 年）

(3) 進路情報の提供とガイダンス機能を充実させることによって、それぞれの進路に対するイメージの具体化を図る。

- ①「進路部だより」の発行 ②進路ガイダンス（各学年） ③進路別ガイダンス（全学年）
- ④先輩に学ぶ会（1・2 年） ⑤学校・職場見学会（1・3 年） ⑥各種外部セミナー（3 年）

(4) 進路達成のために必要な条件を自覚させ、早期に取り組む姿勢を促して段階的に指導を進める。

- ①進路ガイダンス（全学年） ②進路別ガイダンス（全学年） ③添削指導（1・2 年）
- ④小論文指導（2・3 学年） ⑤課外授業（全学年） ⑥就職講習・就職作文指導（3 年）
- ⑦集中学習会（全学年） ⑧先輩に学ぶ会（1・2 学年） ⑨卒業生による就職講話（3 年）

年)

(5) 学年・分掌・教科・保護者との連携を図りながら組織的・継続的な進路指導を行う。

- ①進路ガイダンス (各学年) ②進路別ガイダンス (全学年) ③模擬面接 (3年)  
④添削指導 (1・2年) ⑤小論文指導 (2・3学年) ⑥課外授業 (全学年)  
⑦集中学習会 (全学年) ⑧先輩に学ぶ会 (1・2学年) ⑨PTA 保護者進路説明会 (総務部)

## ◆企業が求める人材=ルールを守れる人

それぞれの会社には、それぞれのルールがあります。会社が、全然知らない高校生を採用しようとする時、その人物が信頼に値する人物なのかを様々な角度から見極めようとします。当然、会社に迷惑をかけるような人物は採用したくありません。始業時間によく遅刻する人やよく会社を休む人(=時間を守れない人)や、自分勝手に物事を判断し重大な事故を引き起こす可能性のある人(=ルールや規律を守れない人)は、どの会社でも絶対に採用したくありません。

では、どうやって信頼できる人材を見極めようとするか。。。

「時間を守れる人なのか」は、学校での遅刻や欠席の回数で判断します。 「忍耐力のある人なのか」は、部活動を3年間まじめに取り組んだのかで判断します。 「ルール・規律を守れる人なのか」は、面接での服装・頭髪などの身だしなみで判断します。
--

さて、なぜ「ルールを守れるかどうか」をその人の身だしなみで判断するのでしょうか？制服をだらしなく着る人(腰パンやだぶだぶのズボン、短すぎるスカート、ネクタイやリボンをしっかりつけない、など)、髪を染色したり、ピアスをつけてる人は、「ルールを守れない人」として評価されます。なぜなら、各会社の人事担当は、学校の校則を理解しており、県内の高校で茶髪やピアスを許可している学校などほとんどないことを知っているからです。学校の校則すら守れない人が会社の様々な規律を守れるはずがない、つまり、信用できない、と考えます。制服をだらしなく着る人は、きつとうちの会社の制服もだらしなく着る。工場内でだらしない服装で働いている人がいる職場へ、外部から大事なお客さんが視察にきたら、その会社全体のイメージダウンにもつながるからです。

## ◆身だしなみ~その場で直せるものと直せないもの

企業がきらい身なりは、①金髪・茶髪、②ピアス、③腰パン・短いスカート、④ネクタイ・リボンのゆるみ、⑤装飾品 です。

このうち、⑤よく女子が身につけている指輪やネックレスは、面接で大きなマイナスポイントになりますが、当日、はずして行けば問題ありません。④のネクタイ・リボンやシャツを第1ボタンまでしっかりしめることも、当日注意すれば良い事です。

一方、①の金髪・茶髪はその場では直せません。前もって染め直していかないといけません。②のピアスはもっと問題です。ピアスをとっただけでは穴が見えるからです。ピアスの穴だけで就職試験が落ちることは珍しくありません。穴がふさがるまで、しばらく時間がかかりますので、これもその場で直せないものとなります。

さて、③は、どちらでしょうか？腰パンは、当日あげればいい。スカートは腰で巻いてる分をさげればいい。そう考えれば、その場で直せるものとして問題にならなそうですが、そうはいかないのです。

ある企業の採用担当の人は、「面接で、入室してきて、最初の3秒でほしいその人の普段の身だしなみがわかる」と言っていました。なぜなら、普段から腰パンをずっとしているズボンを普通の状態にあげると、ひざの折れ曲がり部分にズレがあるのでよくわかるという事でした。女子のスカートも同じです。普段から腰で何重にも巻いて短くしていると、普通の状態にもどすと腰の部分に不自然な折り目ができてしまい、よくわかると言っていました。これらは、アイロンをかけてもなかなか直りません。

普段の着こなしがそのまま制服に消えない跡をつけてしまうのです。

## ◆3年生諸君へ

### 【1】身なりをしっかりと!

さっき、述べた通りです。

常日頃、先生方が口すっぱく言っている容儀指導は、この日のためにあると思ってください。

競う相手は他校の生徒であり、合否を決めるのは、自分を知らない大人たちです。しかし、就職試験本番・AO入試本番、競争相手は同じ高校3年生です。ほんのわずかな差で、合否がわかります。

悔いの残らない万全な態勢で本番に臨めるように、今から身なりを整えて生活しましょう。

### 【2】遅刻・早退・欠席を減らそう

どこの企業や学校でも、欠席・遅刻・早退の数は、とても気にします。ほとんどの企業では、「3年間通して欠席日数は10日未満が望ましい」と、よく言われます。では、もうすでに10日以上休んじやった人は、まるっきりチャンスがないのか?そういうわけでもありません。勿論、トータル数が少なければそれだけチャンスも広がりますが、1~2年で休んでしまっても、3年で欠席・遅刻・早退が限りなく0であるなら、うちの会社でがんばっていける「可能性」を見せることができるし、そこにチャンスがあります。まずは、今からでも欠席・遅刻・早退をしないようにがんばりましょう。

### 【3】成績を伸ばそう

就職試験は9月16日からスタートします。専門学校は10月から応募開始になります。大学・短大の推薦入試は、11月から応募開始になります。

それぞれどこに応募する場合でも学校から「調査書」というみなさんの学校での生活などを記録した書類を同封しなければなりません。その中には、当然1~3年までの成績も記載されるわけですが、3年の部分は、応募までに実施された定期考査の成績がそのまま3年の評価として記載されます。

9~10月にある就職や専門学校の応募書類では6月に行われた第1回考査の成績がそのまま3年の評価として載ることになります。ですから、6月の第1回考査は、みなさんの命運をかけた大事な大事な考査です。全力で臨んでください。万が一、この考査で赤点をとるということは、赤点を解消するための追指導を7月に受けることになります。本来、この7月は、求人票をみたり就職応募先を決める大事な時期なのですが、追指導に気持ちも時間もとられて、本来やるべきことに集中できなくなり、一番大事な時期に大きなマイナスになってしまいます。

第1回考査は絶対に赤点を取らないようにしっかりと授業に臨んで下さい!

### 【4】進路達成は団体戦!

進学でも就職でも、自分の進路を決定させるためには、いろいろ準備なくちゃいけません。勉強したり、面接練習したり、いろいろ調べ物したり。。。そうやって自ら行動しなくちゃいけない時に一番大事なものがまわりの雰囲気です。全体の雰囲気がのんびりしてて「まだいいや。。。」なんて感じだと、自分もなかなか行動に移れません。進路を決めていくのは自分の力なので個人戦だと思われがちですが、本番までにどれだけの準備ができているかは、**集団の力**が大事です。

みんな進路が決まって、来年の春には、みんな笑顔で卒業してもらいたいですね。

## ◆1・2年生諸君へ

外から見た岩出山高校のイメージは、実は1・2年生の校外での日頃の振る舞いで決まります。そこでできあがったイメージをもとに3年生の進路が決まります。そして、3年生が切り開いた実績で岩出山高校は再評価され、あとに続く君たちの進路の可能性が広がっていくのです。

**進路達成は岩出山高校全体の総力戦です。** ぜひ、みなさんのご協力をお願いします！